

精神科病院における新型コロナウイルス感染症対応 岡山県の場合

第3回第8次医療計画等に関する検討会
岡山県精神科医療センター 院長 来住 由樹

岡山県新型コロナウイルス感染症 特に精神症状が重いときの対応

- 人口188万人 政令市1(岡山市72万)、中核市1(倉敷市48万)
- 岡山県の行政区は3(備前県民局:岡山市を含む91.2万、備中県民局:倉敷市を含む77万、美作県民局23万)
- 感染者数15178人(うち精神病床での入院者数96) 死亡者数136人(うち精神病床での死亡者数6)

【岡山県の基本情報(令和元年10月)】

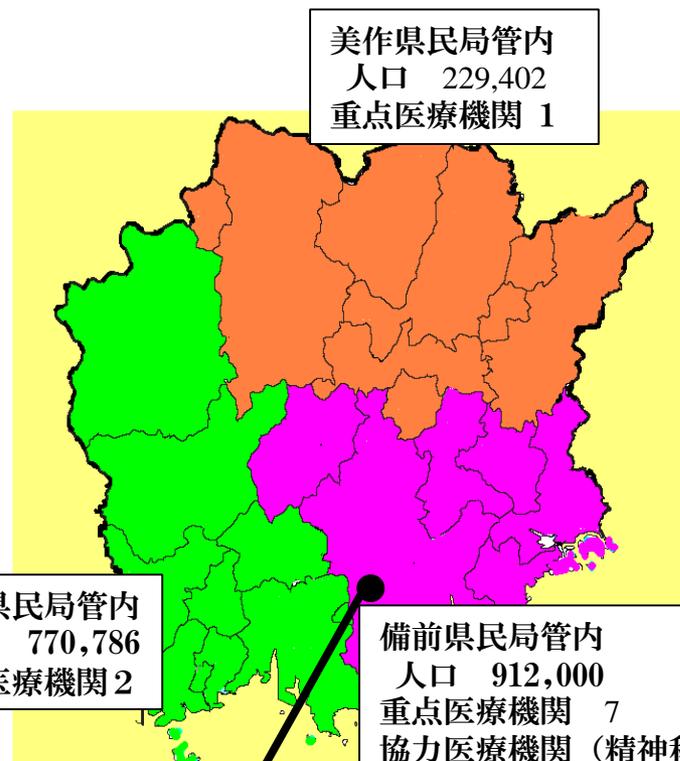
人口	1,875,225	人
面積	7112	km ²
行政区/保健医療圏	3 / 5	
市町村の数	27	自治体

【精神科医療の基本情報】

単科精神科病院の数	18	病院
精神病床数	5272	床
精神科病床を有する総合病院数	2(39床)	病院(病床数)

【岡山県新型コロナウイルス感染者数】

	2021/9/30現在	人数
感染者数		15,178
岡山県精神科医療センターに入院した感染者数		60
うち他の精神科病院からの転院数		6
クラスター発生精神病床内で処遇された感染者数		35
死亡者数		136
精神病床での死亡者数		6

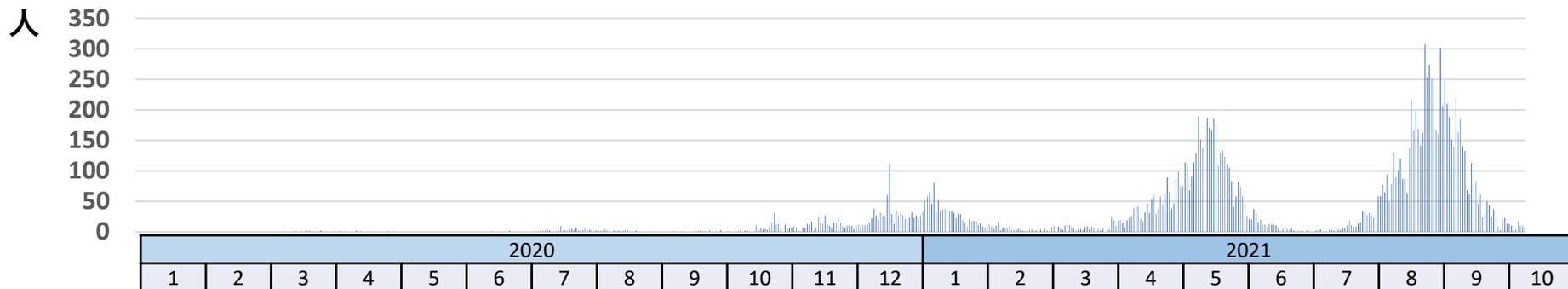


協力型医療機関(精神科病院唯一)
岡山県精神科医療センター

新型コロナウイルス感染症新規発生数と岡山県精神科医療センター入院患者数

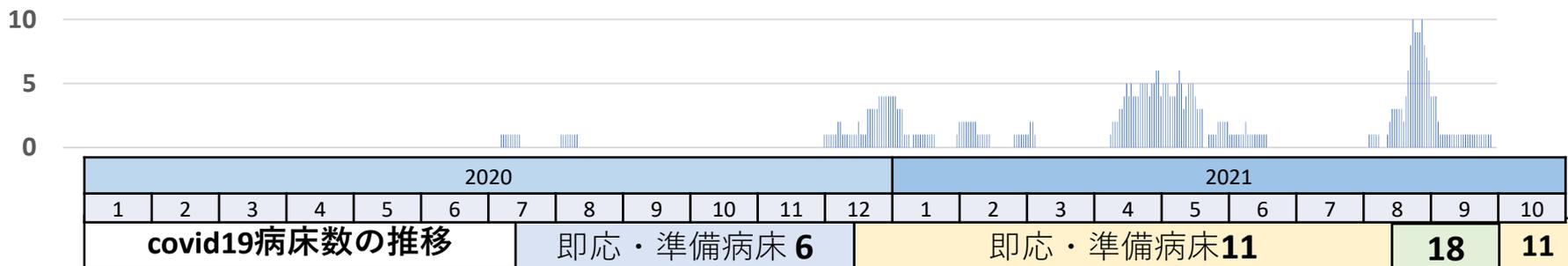
岡山県

新型コロナ感染新規発生数



岡山県精神科医療センター

新型コロナ感染症入院数



【岡山県精神科医療センター入院者の特徴】

- 第1～4波は、高齢者/認知症者が80%であった。
- 第5波は、若年者から高齢者まで年齢層は広く、精神疾患は、統合失調症/アルコール依存症/気分障害/知的障害/自閉症と多岐に亘った。
- 全て医療保護/応急入院で対応した。精神症状のため離院の可能性があるため医療保護/応急入院としたものが30%であった。

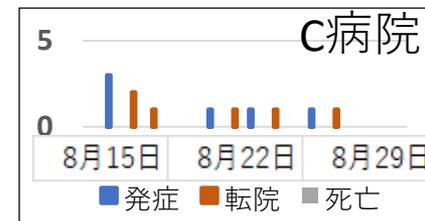
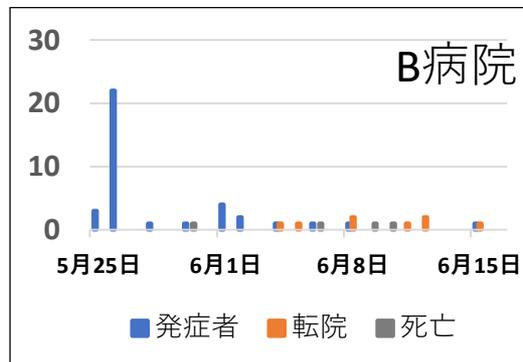
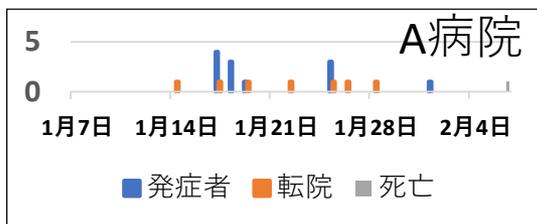
精神科病院での新型コロナウイルス感染症クラスターへの対応

【岡山県での精神科病院クラスターの特徴】

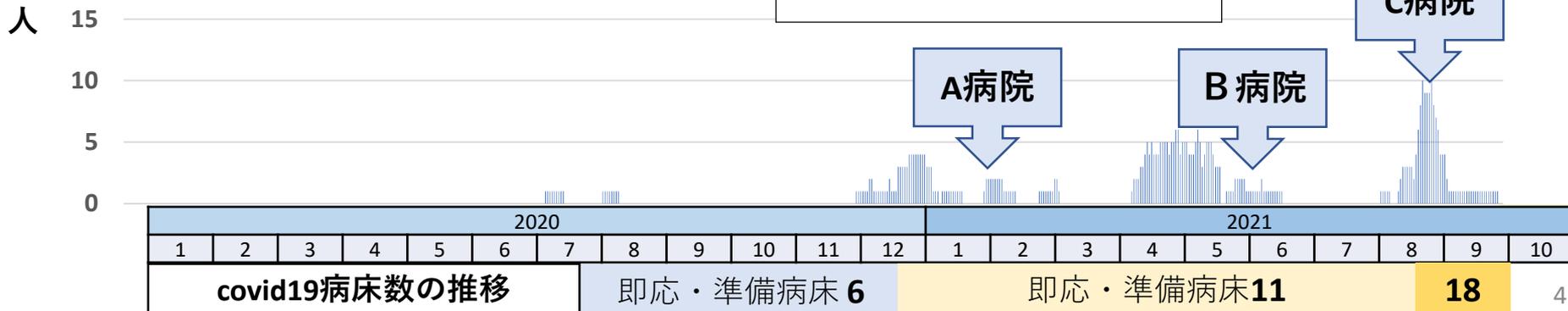
- クラスターは、3病院（17%）で発生した。
- 全て、認知症対応の精神療養病棟であった。
- 3病院共に、1病棟内で感染を封じ込めることができた。

【岡山県での精神科病院クラスターへの対応】

- 56人が発症し、21人が転院した（総合病院15/岡山県精神科医療センター6）
- 岡山県クラスター班が、専門職を派遣した。
公衆衛生チーム/現地医療チーム/感染症医/管理看護師



岡山県精神科医療センター入院数



精神科病院での新型コロナウイルス感染症病床確保

【フェイズごとの岡山県精神科医療センターでのcovid19病床数】

フェイズ1	フェイズ2	フェイズ3	フェイズ4
即応・準備病床 6	即応・準備病床11	18 ↔ 最大24	

※医師・看護師が**総合病院並みに配置**していたため実施が可能であった！

新型コロナウイルス感染症病床は、精神科「回復期」病棟に設置

13対1施設基準：看護師配置基準**18名**

→**平時から看護師28**、医師3、精神保健福祉士2、作業療法士2と過配

1. 病床を新型コロナ病床と精神科「回復期」病床とに分けて運用
2. 新型コロナ病床の**増床**に応じて当該病棟運用病床数を**減**じて人員確保

病床数	平時	フェイズ1	フェイズ2・3	フェイズ4
精神科「回復期」	56	44	34	17 ↔ 0
新型コロナ対応	0	6	11	18 ↔ 最大24

3. 新型コロナ病床で人員加配が必要な時には、看護師を他病棟から応援派遣
4. 病院職員数：医師31（精神科29・**内科1**・**麻酔科1**）、看護師208、コメディ67
病床数：252
5. 民間精神科病院がcovid19病床確保のために転院支援（24人）

岡山県精神科医療センター 新型コロナウイルス感染症 治療実績

転帰

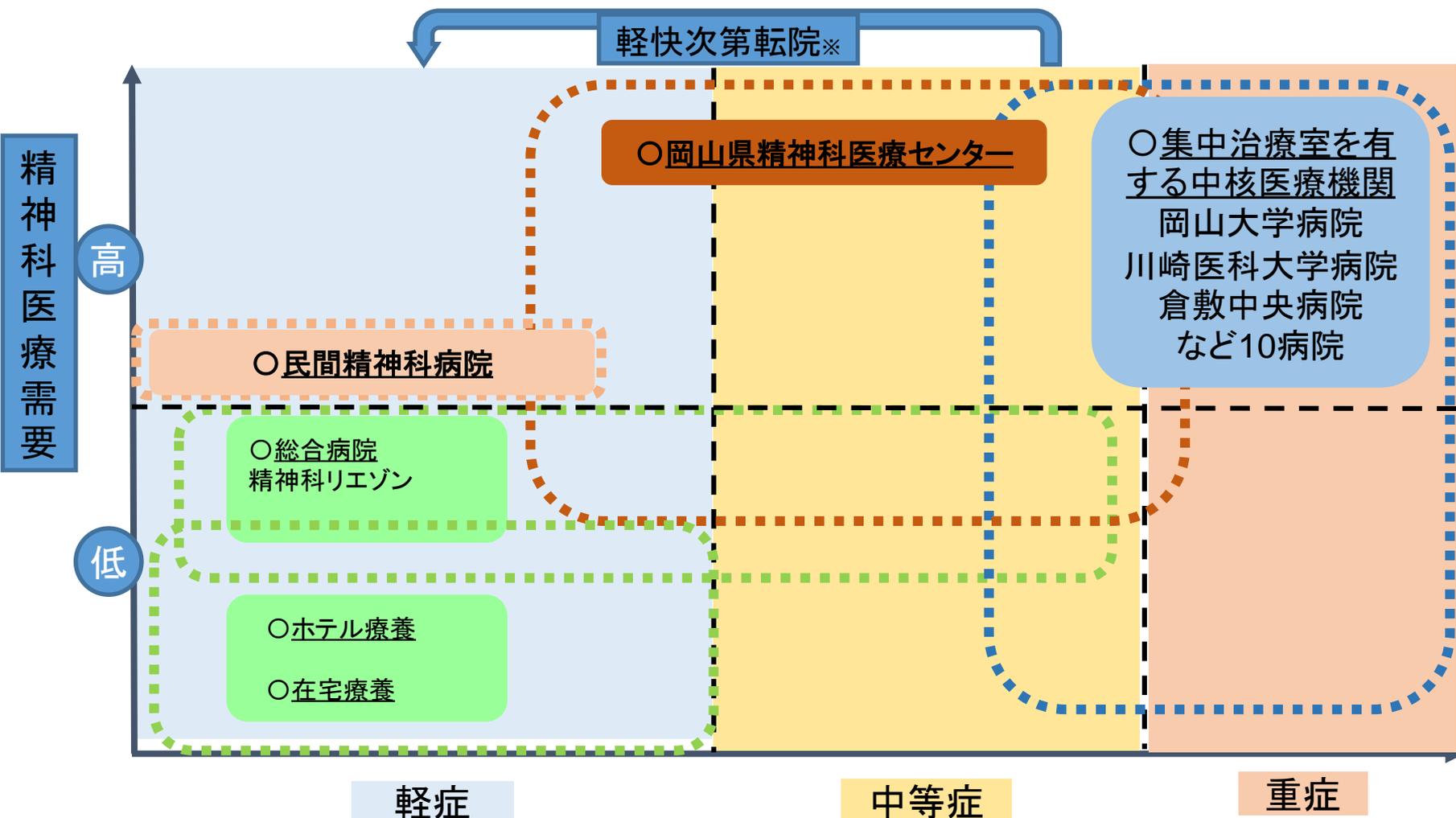
回復	54
自宅	24
入所施設	12
身体科転院（隔離解除後）	8
精神科転院（紹介元）	6
精神科転院（解離解除後）	4
身体科転院（病状悪化）	5
死亡	1

転帰に寄与したこと

1. 新型コロナウイルス感染症標準的治療を精神科病院において実施した
 - ・ 医師数の総合病院並みの配置
 - ・ 内科医と麻酔科医の常勤医の配置
 - ・ 岡山市民病院感染症科による治療マニュアルのタイムリー改訂協力
 - ・ 感染症治療の電話コンサルト
2. 精神疾患の有無に関わらず
身体重症の時には総合病院に入院
3. 病状悪化時には、
精神科・身体科間でのタイムリーな転院

COVID19に係る精神科入院医療提供/連携体制

- 県調整本部に精神科担当医師を配置、県精神科医療センター院長が24時間対応
- 精神障害者の療養先（総合病院/精神科病院/ホテル療養/在宅療養）決定に関与
- 身体疾患/精神症状の重症化に対応して転院調整



※重症ベッドと精神科救急に対応できる医療機関が限られているため、症状軽快(軽症化)すれば、早急に転院が必要

身体科と精神科との連携(県調整本部が介在)

※総合病院と精神科病院との円滑な連携が可能となった理由

- ・行政(県調整本部)と医療機関の信頼関係
- ・総合病院と県精神科医療センターとの信頼関係
- ・県調整本部に24時間精神科医が関与

【情報共有】

1. 基幹施設の管理者間 1/週
岡山県新型コロナウイルス対応者会議
参加機関① 10 重点医療機関
② 1 協力型(岡山県精神科医療センター)
③ 岡山県調整本部/岡山市保健所
※メーリングリストの活用を含む
2. 基幹施設の現場医師間
岡山市新型コロナウイルス感染症連絡会議 ½週
参加機関 ① 岡山市内7重点医療機関現場医師
② 岡山県精神科医療センター現場医師・スタッフ
③ 岡山市保健所
※Lineグループで治療/転院時の情報共有
3. 行政(岡山県/岡山市)と医師間 1/週
岡山県医師会理事会

【精神科ネットワーク】

1. 精神科医療提供/連携体制に関する検討会
必要時に県調整本部でハイブリッドで実施
2. 精神科病院間での情報共有
岡山県精神科医会災害時メーリングリスト

情報共有とハブ機関による実質的連携

身体科

93協力型医療機関

10重点医療機関

ハブ

病院

岡山大学病院救急科・総合内科
岡山市民病院

ハブ

岡山県新型コロナ調整本部

精神科

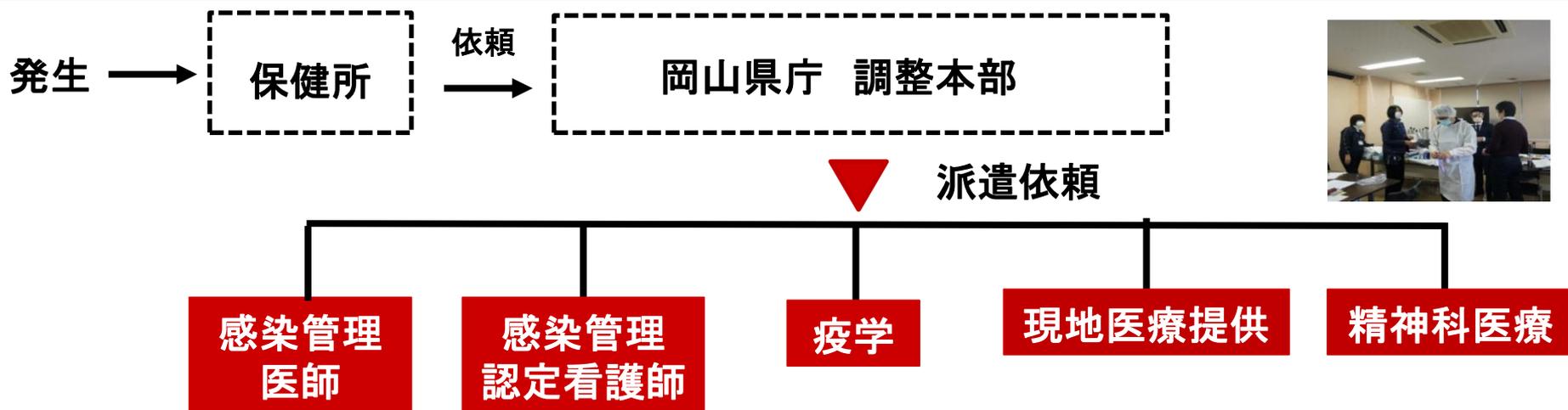
1 協力型医療機関

ハブ

岡山県精神科医療センター

17 精神科単科病院

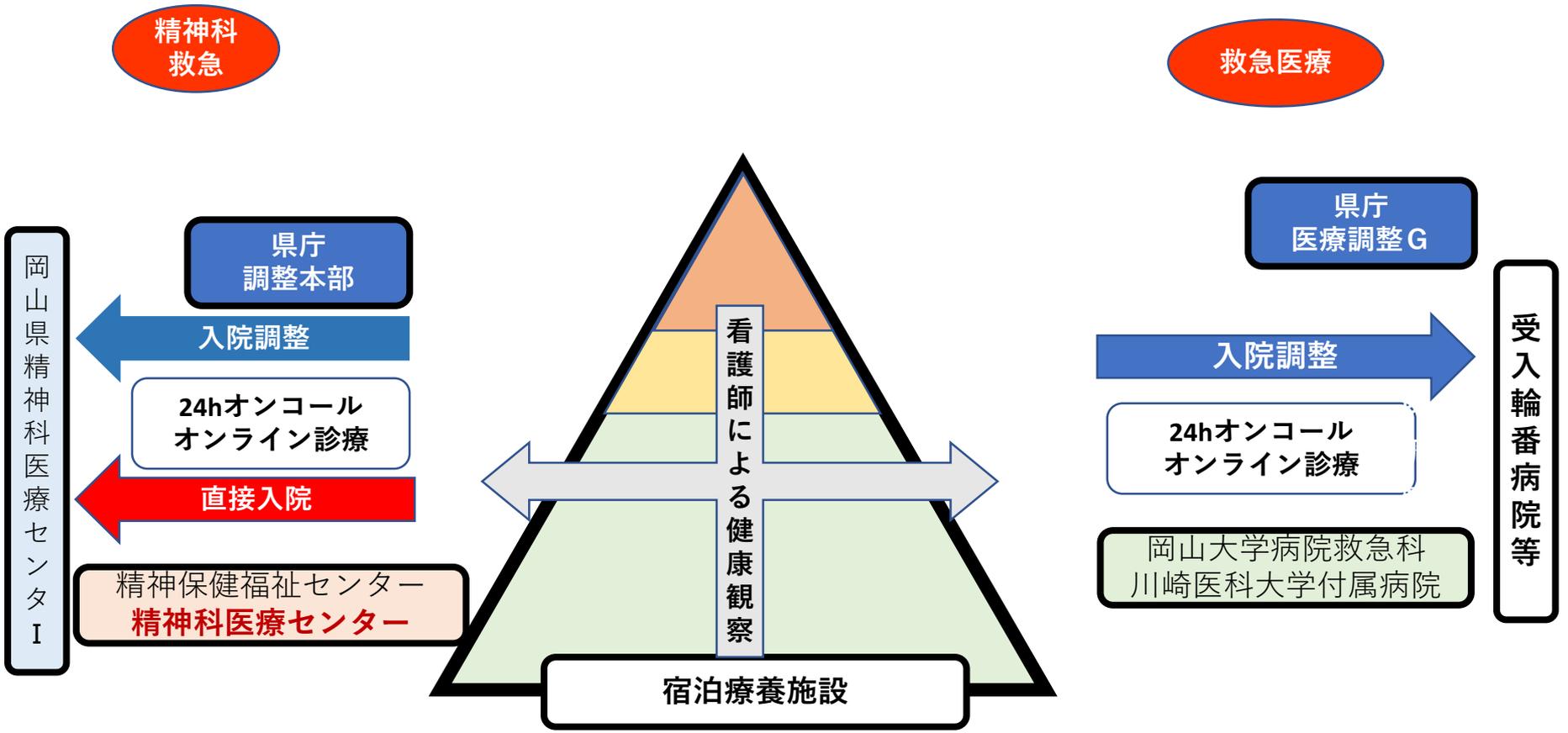
1. 精神科病院クラスターに専門職の派遣
2. 感染拡大の防止
3. 転院トリアージ



	感染管理医師	感染管理認定看護師	疫学	現地医療提供	現地精神科医療
選抜方法	登録医師	登録看護師	岡山大学疫学・衛生学分野、公衆衛生学分野	登録医療機関各職種(医師、看護師、業務調整担当)の派遣を依頼 ・DMAT(災害拠点病院)	登録医療機関 ・岡山県精神科医療センター (災害拠点精神科病院)
役割	施設感染対策	施設感染対策・現地医療提供時感染対策	データの解析	医療提供 転院トリアージ	現地医療提供チームに対する精神科医療および精神保健活動支援

宿泊療養施設からの入院調整 オンライン診療・電話コンサルト

- 宿泊施設で精神不調が生じたときに、電話コンサルトを24時間対応
- 必要時にはオンライン診療も可能



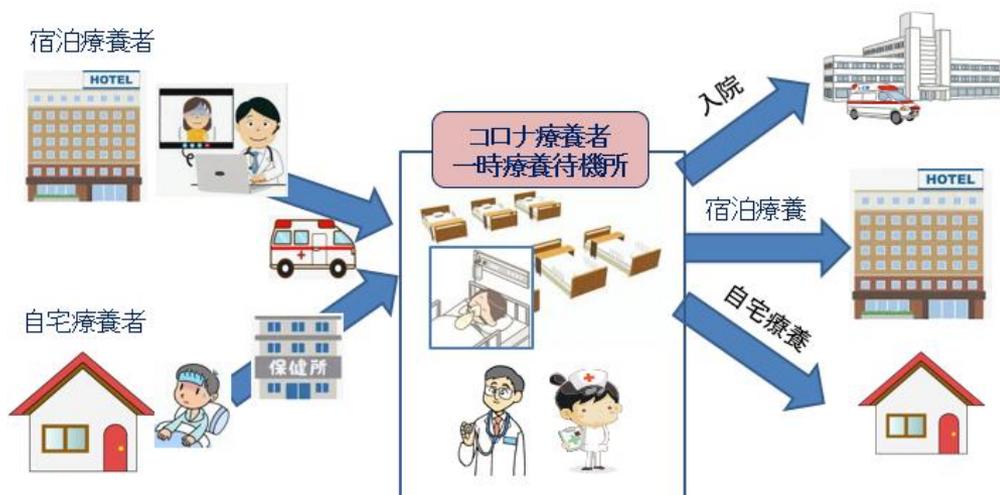
新型コロナウイルス感染症療養者 一時療養待機所

- 宿泊療養施設/自宅療養者の病状悪化時の救急搬送（酸素投与/限定的な薬剤投与）
- 夜間の受入医療機関と救急搬送の負担軽減
- 緊急性の高い入院を優先するため、一時的に療養する待機所を設置しトリアージの実施

○ 入所対象者 新型コロナウイルス感染症療養者うち、自宅療養者は保健所長、
宿泊療養者はオンライン診療の医師が当施設への待機が必要と判断した者

○ 施設の概要

- (1) 設置場所 : 岡山県精神科医療センター（岡山市北区鹿田本町3-16）
- (2) 患者受入時間 : 午後5時～午前10時
- (3) 病床数 : 5床（状況によって10床まで増床を予定）
- (4) 体制 : 医師、看護師、県職員等5～6名
- (5) 設備 : 酸素濃縮装置、生体情報モニター等



岡山県精神科医療センター西倉庫を転用



まとめ

1. 岡山県では、精神科単科病院の中に一ヶ所、精神科拠点新型コロナ対応病院を設置した。精神疾患が重篤な方の新型コロナ感染症の治療を効果的に行うことに有効であった。（精神病床での死者は6人）
2. 精神科拠点新型コロナ病床を効果的に運用するには、県調整本部に精神科医師の配置し24時間対応したことが有効であった。
3. 精神科病院間の役割分担と患者転院に即応することが有効であった。
4. 精神科拠点新型コロナ対応病院では、新型コロナ感染症標準的治療が実施できた。内科・麻酔科医の配置が有効であった。
5. 精神科拠点新型コロナ対応病病院には、総合病院並みに医師、看護師の配置が必要である。
6. 岡山県クラスター班の活動は、クラスターが生じた施設・病院での感染拡大予防に寄与した。